

社会福祉法人春献美会 なかうちだのぞみ保育園

令和4年度 事業計画

田畑や自然に囲まれ、広い園庭のある恵まれた環境のもと、家庭的な雰囲気の中で、子どもの心身の健康の基礎づくりや豊かな経験と心の触れ合いを大切に保育して参ります。

子どもの遊びの中から育つものを大切に、引き続き、子どもたちのつぶやきと遊びに着目し、一人ひとりの発達や興味にあった遊びが豊かに展開できるよう、必要な援助と環境作りに取り組んで参ります。子どもの主体性について職員間で話し合いを重ね、子ども達が自ら遊びたいことを選ぶだけでなく、「満足するまで行える」ことを大切に、園全体で子どもの育ちの援助に取り組んでいきます。

また、子どもの生涯にわたる人間形成にとって極めて重要な乳児期の子ども達の保育を担っていることを、職員一人ひとりが認識し、保育園全体としての保育の質の向上を図るとともに、子ども一人ひとりの発達や園全体に関する気づきを共有する場を積極的に持ち、職員全員の創意・工夫による保育園運営を展開していきます。

1 施設運営

(1) 児童の処遇

ア クラス編成

クラス名	年齢	保育士数	園児数	備考
きのこ	0歳	1	3	
きいちご	1歳	1	6	
どんぐり	2歳	2	9	
合計		6	18	

イ 月別保育予定日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計 293日
25	23	26	25	26	24	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
25	24	24	23	22	26	

ウ 健康管理

子ども一人ひとりの発育発達の個人差（個性）を考慮しながら、健康な生活習慣を身に付け、豊かな成長が遂げられるよう積極的に次の点に取り組めます。

- [1] 日常養護・健康管理
- [2] 病気の予防と早期発見
- [3] 安全と事故防止
- [4] 健康増進と保健指導
- [5] 環境衛生

年間保健行事

保健行事	対象年齢
内科健診	全園児（年2回）
歯科健診	全園児（年1回）

エ 保育方針

- ・あたたかい見守りの中で心地よく過ごせる環境を提供していく。
- ・ひとりひとりの良さを伸ばせるように育ちを援助していく。
- ・家庭との連携を密にして信頼関係を作り、子育ての楽しさを共感しあう。
- ・地域・保育園・家庭が支えあって子育ての輪を広げていく。

オ 各組の保育目標

どんぐり組（2歳児）の年間目標

- ・保育士との安定した関わりの中で、生活に必要な身の回りのことを行い、自分で出来た喜びを感じる。
- ・自分の思いや気持ちを言葉で表現したり、やり取りを楽しんだりする。
- ・保育士の仲立ちによって、模倣遊びやごっこ遊びを楽しみながら、友達との関わりを楽しむ。

きいちご組（1歳児）の年間目標

- ・保育士との信頼関係のもと安心して生活しようとする。
- ・簡単な身の回りのことを自分でしようとする。
- ・様々な遊びを経験する中で好きな遊びを見つけ、保育士や友達と一緒に楽しむ。
- ・思いや欲求を身振りや言葉で保育士や友達に伝え気持ちを表す。
- ・生活や遊びで経験したことを真似したり、自分なりに表現したりして楽しむ。"

きのご組（0歳児）の年間目標

- ・保育士との信頼関係をもとに、生理的・心理的欲求を満たし、生命の保持・生活・情緒の安定を図る。
- ・発達に応じた適切な援助により、離乳、運動機能の発達、発語の意欲を育む。"

カ 主な行事予定

- ・避難訓練（毎月）
- ・身体測定（毎月）
- ・お楽しみ会（毎月）
- ・内科健診（年2回）
- ・歯科検診（年1回）
- ・防犯訓練（年1回）
- ・七夕会
- ・クリスマス会
- ・節分豆まき会
- ・ひなまつり会
- ・ありがとうの会（修了式）
- ・保育参加日（希望者）
- ・ふれあい参観日

キ 食事

[1] 目標『楽しくよく食べる子』に育てる。

配慮事項 薄味、和風献立に心がける。

旬の素材を使った献立作りを心がける。

見た目においしく、食べておいしい食事づくりを心がける。

保護者との連携を密にする。

[2] 食育

毎月 予定献立表の配布をする。

給食だより なかうちだのぞみ保育園の食事の紹介や栄養情報などをまとめ、月1回発行する。

食を考える 喫食簿等にて、献立や提供された食事についての感想や反省、改善案などを出し合い、おいしく子どもの健康維持のための食事作りを進めていきたい。

野菜の栽培を通じて、野菜の生育を見たり味わったりしながら食への関心を育んでいく。

[3] 衛生管理

衛生チェック表を作成し、毎日衛生項目にそって確認している。

調理人の細菌検査（毎月1回） 調理室の掃除、ワゴン清掃（毎日）、

冷蔵庫消毒、原材料・調理済み食品の保存（2週間）をしていく。

[4] 離乳食に関して

0歳児・1歳児クラスについては保護者と調理師が直接話し合い、形状や食材等離乳の進みを確認しながら、個々に合わせて細かな配慮をし、無理なく進めていく。

[5] 食物アレルギー児に関して

それぞれの子どもの症状により除去食による個別対応。担任と調理員、配膳に関わる職員全てによる確認を二重三重に行い誤食のないようにしていく。

ク 安全管理

非常災害時の避難訓練（毎月）

(2) 職員の処遇

ア 職員構成

施設責任者	1名
保育士	5名
看護師	1名
調理員	1名
嘱託医	2名(非常勤)

イ 健康管理

健康診断	年1回
細菌検査	毎月

ウ 職員会議

- ・毎月1回

エ 研修計画

別紙添付(研修がわかり次第後日提出)

オ 退職・福利厚生

- ・福祉医療機構退職共済制度加入
- ・小笠掛川勤労者福祉サービス加入

2 施設管理

(1) 事務関係

ア 会計事務、管理事務

イ 児童処遇事務(保育、給食、健康管理)

(2) 備品関係

非常食・災害用品・感染症防止対策用品

(3) 災害対策

ア 避難訓練

毎月1回
内、引き渡し訓練1回

イ 不審者対応訓練

年1回

- ウ 防災設備の点検委託
 - 年2回（内、届け出1回）
 - ※菊川市が実施

3 保護者にむけて（保育への理解と協力の促進）

ア 保育参観

- ・保育参加日を6月～7月に設け、希望の保護者の参加を受け入れ、一緒に生活しながら子どもの様子・成長を見ていただく。
- ・ふれあい参観日として11月中旬頃に実施。園での子どもの様子や、当園の保育をご理解いただく場とする。

イ 保護者懇談会・個人面談（希望者）

年1回

ウ ドキュメンテーションの作成

- ・行事や月毎にドキュメンテーションを作成・掲示し、園での子どもの様子や、当園の取組みを知って頂く。

エ お知らせ

- ・園だより毎月1日に発行
- ・クラスだより毎月1回以上発行
- ・給食だより・献立表毎月1回発行